

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【公開番号】特開 2000-133323 (P2000-133323A)
【公開日】平成 12 年 5 月 12 日 (2000.5.12)
【出願番号】特願 平 11-306525
【国際特許分類】

H 0 1 M 10/48 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 M 10/48 P

【手続補正書】
【提出日】平成 18 年 7 月 21 日 (2006.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

負荷に電力を供給するための蓄電装置であって、
前記負荷に接続可能であり第 1 の蓄電容量及び第 1 の自己放電率を有するメインバッテリーと、

第 2 の蓄電容量及び第 2 の自己放電率を有するダミーバッテリーであって、該第 2 の蓄電容量が、前記メインバッテリーの前記第 1 の蓄電容量よりも小さく、前記第 2 の自己放電率が、前記メインバッテリーの前記第 1 の自己放電率と実質的に等しい、ダミーバッテリーと、

前記負荷が前記メインバッテリーから電流を引き出している際に前記メインバッテリーよりも速い速度で前記ダミーバッテリーを放電させる放電回路とを備えている、蓄電装置。

【請求項 2】

前記メインバッテリー及び前記ダミーバッテリーが、それぞれ所定の面積を有する薄膜型バッテリーであり、

前記ダミーバッテリーの前記面積が、前記メインバッテリーの前記面積の所定の割合に相当するものであり、

該所定の割合が約 5 % 未満である、
請求項 1 に記載の蓄電装置。

【請求項 3】

前記放電回路が、前記メインバッテリーよりも約 10 % 速く前記ダミーバッテリーを放電させる、請求項 1 に記載の蓄電装置。

【請求項 4】

前記ダミーバッテリーの前記第 2 の蓄電容量が、前記メインバッテリーの前記第 1 の蓄電容量の約 5 % 未満である、請求項 1 に記載の蓄電装置。

【請求項 5】

前記放電回路が、
前記メインバッテリーに接続された第 1 の検知抵抗と、
前記ダミーバッテリーに接続された第 2 の検知抵抗とを備えている、請求項 1 に記載の蓄電装置。

【請求項 6】

前記メインバッテリー及び前記ダミーバッテリーが薄膜型バッテリーであり、
前記ダミーバッテリーが1つのストリップとして構成されている、
請求項1に記載の蓄電装置。

【請求項7】

前記メインバッテリー及び前記ダミーバッテリーが薄膜型バッテリーであり、
前記ダミーバッテリーが1つのセルとして構成されている、
請求項1に記載の蓄電装置。

【請求項8】

前記放電回路が、電流ミラーとして構成された演算増幅器、トランジスタ、及び抵抗を
備えている、請求項1に記載の蓄電装置。

【請求項9】

少なくとも1つの追加のダミーバッテリーを備えており、
前記負荷が前記メインバッテリーから電流を引き出している際に、前記放電回路が、前
記メインバッテリーよりも速い速度で前記少なくとも1つの追加のダミーバッテリーを放
電させる、
請求項1に記載の蓄電装置。